

編集方針/本レポートの位置づけ

編集方針

本レポートは、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様へ、豊田合成グループへの理解を深めていただくことを目的に制作しました。豊田合成グループの中長期的な価値創造の戦略や取り組みをご紹介します。編集にあたっては、IFRS 財団が提唱する「統合報告フレームワーク」や、経済産業省による「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」、内閣府による「知財・無形資産ガバナンスガイドライン」などを参照し、簡潔でわかりやすい誌面づくりに努めています。財務情報・非財務情報に関するより詳細な内容につきましては当社Webサイトの株主・投資家サイトおよびサステナビリティサイトをご覧ください。

報告対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日（開示内容の理解促進のため、必要に応じ、過去の取り組みや直近の情報を記載しています）

報告範囲

原則として豊田合成株式会社、国内外の子会社および関連会社を合わせた豊田合成グループ71社を対象としています。（一部の項目は個々に範囲を記載しています）

発行日

2026年9月（前回2025年9月、年1回発行）

本レポートの位置づけ



本書で用いる用語

- ICE : Internal Combustion Engine(内燃機関)
- BEV : Battery Electric Vehicle(電気自動車)
- HEV : Hybrid Electric Vehicle(ハイブリッド車)
- PHEV : Plug in Hybrid Electric Vehicle(プラグインハイブリッド車)
- FCEV : Fuel Cell Electric Vehicle(燃料電池車)
- CASE : 「Connected : コネクテッド」「Autonomous : 自動運転」「Shared & Service : シェアリング・サービス」「Electric : 電動化」の頭文字をとったもの
- CN : カーボンニュートラル
- CE : サーキュラーエコノミー
- OEM : 自動車業界では自動車メーカーのこと
- ADAS : Advanced Driver-Assistance Systems(先進運転支援システム)

免責事項

本レポートの掲載内容には細心の注意を払っていますが、正確性や更新時期を保証するものではなく、掲載情報の更新・誤りなどによって生じたトラブル・損失および損害に対しても責任を負うものではありません。

豊田合成について

編集方針/本レポートの位置づけ

価値創造の全体像/目次

社是/経営理念/TG Spirit

事業の進化と価値創造の歴史

TG at a glance

価値創造ストーリー

価値創造の戦略

価値創造を支える基盤

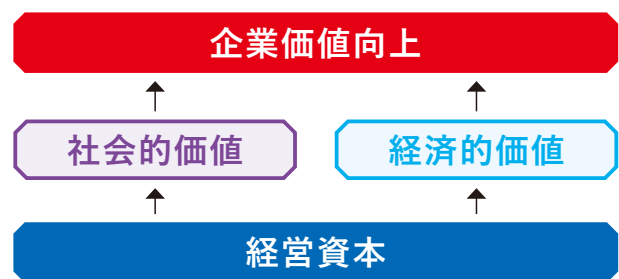
コーポレート・ガバナンス

データ

価値創造の全体像/目次

▶ 価値創造の全体像

当社は、経営理念に基づく事業活動を通じて、社会的価値と経済的価値を創出します。これら二つの価値を相互に高めることで、持続的な企業価値の向上を図り、社会の持続可能な発展に貢献します。



▶ ステークホルダーからのよくあるご質問

- Q** 豊田合成の独自の企業文化や価値観について知りたい
▶ 豊田合成について
- Q** どのような価値を、どのように創造しているか知りたい
▶ 価値創造ストーリー
- Q** どのように企業価値向上を実現していくのか知りたい
▶ 価値創造の戦略
- Q** 持続的な価値向上を可能とする仕組みや機能を知りたい
▶ 価値創造を支える基盤
- Q** 経営判断を支えるガバナンスの仕組みを知りたい
▶ コーポレート・ガバナンス
- Q** これまでの成果を知りたい
▶ データ

▶ 目次

豊田合成について

編集方針/本レポートの位置づけ	1
価値創造の全体像/目次	2
社是/経営理念/TG Spirit	3
事業の進化と価値創造の歴史	4
TG at a glance	5

価値創造ストーリー

CEO MESSAGE	6
私たちの競争優位性	11
価値創造プロセス	12
豊田合成の経営資本	13
マテリアリティ（重要課題）	14

価値創造の戦略

成長戦略統括	16
開発戦略	19
知的資本戦略	22
モノづくり戦略	23
事業戦略	27
地域戦略	37
人材戦略	40
DX戦略	44
財務戦略	45

価値創造を支える基盤

サステナビリティマネジメント	49
品質保証	50
環境	51
サプライチェーンマネジメント	55
人権の取り組み	56
安全健康	57

コーポレート・ガバナンス

ダイアログ：証券アナリスト×社外取締役	58
ガバナンス	62
リスクマネジメント	69
コンプライアンス	72
役員一覧	73

データ

10年間の連結財務サマリー	75
財務ハイライト	76
非財務ハイライト	77
IR活動・投資家情報	79
会社情報・社外からの評価	80

豊田合成について

編集方針/本レポートの位置づけ

価値創造の全体像/目次

社是/経営理念/TG Spirit

事業の進化と価値創造の歴史

TG at a glance

価値創造ストーリー

価値創造の戦略

価値創造を支える基盤

コーポレート・ガバナンス

データ

社是/経営理念/TG Spirit

▶ 2030事業計画の目指す姿

高分子の可能性を追求し、より良い移動と暮らしを未来につなぐ会社

社是

限りない創造 社会への奉仕

経営理念

社会への貢献

私たちは、良き企業市民として、各国・地域に根ざした事業活動および社会貢献活動により、経済・社会の発展に貢献します。

持続的な成長

私たちは、仕入先様とのオープンで対等な関係を基本に、互いに企業体質の強化・経営の革新に努め、グループの総合力を高めます。

地球環境・資源の保全

私たちは、環境に配慮した製品の提供と工程づくりに努め、あらゆる企業活動を通じ、社会と連携して環境・資源を保全し、豊かな地球を未来に残すことに貢献します。

適正な事業活動

私たちは、法令の遵守や企業倫理の徹底に向けた体制を構築し、誠実な事業活動を行います。

お客様の満足

私たちは、変化を先取りした研究開発とモノづくり技術により、お客様に満足いただける品質・価格で、タイムリーに商品・サービスを提供します。

人間性の尊重

私たちは、労使相互信頼・責任を基本に、一人ひとりの個性を尊重するとともに、チームワークによる総合力を高め、活力と働きがいのある企業風土を実現します。

TG Spirit

豊田合成グループは、仕事に対する共通の価値観として「TG Spirit」を制定しています。働き方の多様化や価値観が変化していく中で、国籍・性別・年齢・ライフスタイルなどの異なる世界16カ国・地域で働く約4万名の従業員がチームワークによって総合力を発揮するために、TG Spiritは大切な拠り所になります。目まぐるしい環境変化の中でも大切にしていきたい、今日まで受け継がれてきた“仕事を行う上で大切にすべき心構えや考え方”を将来にわたって継承し、持続的な企業の進化と成長を目指します。

お客様目線

Customer Oriented

お客様の立場で考えます

お客様が求めるものは何か、私たちはそこにもう貢献できるかを意識します。

当事者意識

Ownership

何事も主体的に責任を持ってやり抜きます

私たち一人ひとりがTG製品のオーナーだと考えて、常に当事者意識を忘れないようにします。

リスペクト

Respect

一人ひとりの個性や意見を尊重します

一人ひとりの個性や意見を尊重し、国籍や性別、役職を問わず、「謙虚な心」を持って相手に接し、お互い学びあう姿勢を忘れません。

チャレンジ

Challenge

高い目標を掲げ勇気を持ってチャレンジします

高い志と目標を掲げ、どんな困難があろうとも、ひるまず立ち向かう勇気を持ちます。

たゆまぬ改善

Continuous Kaizen

現状に満足せず、改善を続けます

現地現物現実となぜなぜ5回を実践しながら、さらに一つ上を目指して、現状を変えていきます。

チームワーク

Teamwork

お互いに助け合い、チームとして成長します

チーム内、部門間、豊田合成グループ間で力を結集し、ONE TGを実現します。

豊田合成について

編集方針/本レポートの位置づけ

価値創造の全体像/目次

社是/経営理念/TG Spirit

事業の進化と価値創造の歴史

TG at a glance

価値創造ストーリー

価値創造の戦略

価値創造を支える基盤

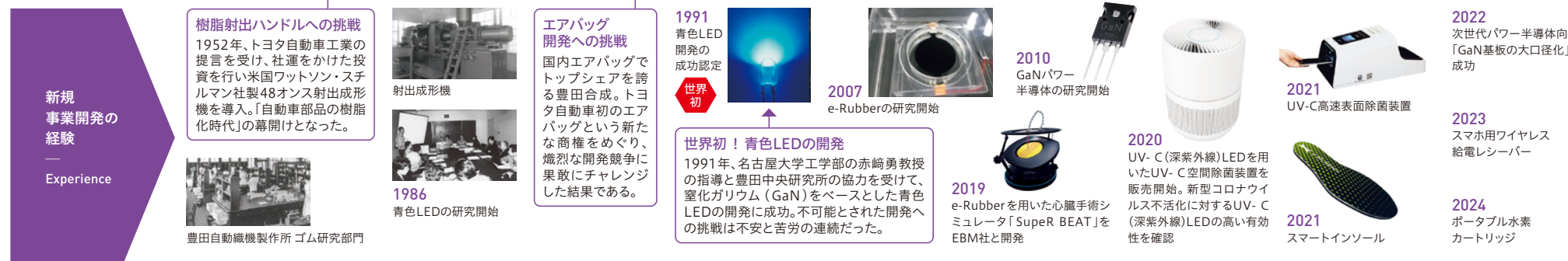
コーポレート・ガバナンス

データ

事業の進化と価値創造の歴史

創業以来培ってきたゴム・樹脂分野における独自の技術力を活かしたモノづくりを通じて、時代のニーズに応え、世界に新しい価値を提供しています。

1949 » 1960 » 1970 » 1980 » 1990 » 2000 » 2010 » 2020



豊田合成について

編集方針/本レポートの位置づけ

価値創造の全体像/目次

社是/経営理念/TG Spirit

事業の進化と価値創造の歴史

TG at a glance

価値創造ストーリー

価値創造の戦略

価値創造を支える基盤

コーポレート・ガバナンス

データ

TG at a glance

私たちは、1949年の設立以来、高分子技術（合成ゴムや合成樹脂およびその配合技術）をベースに、開発・設計、調達、生産、販売に関わる様々なステークホルダーの皆様と連携しながら、機能および品質の高い製品・サービスを提供しています。



従業員数(グローバル)

41,304名



展開国数

16カ国



米州地域 5年平均営業利益率

5.9%(同業13社平均※3 2.3%)



インド地域 過去4年平均売上成長率

17.6%(インド市場の成長率※4 5.0%)

※3 大手自動車部品メーカーのうち、米州または北米地域の営業利益率が開示されている13社の2021～2025年度の平均値

※4 インドの自動車生産台数の2022～2025年の平均成長率。Mobility Global社データをもとに当社算出

事業別売上収益



セーフティシステム製品(SS)事業

4,576億円



内外装製品(IE)事業

3,691億円



機能製品(FC)事業

1,889億円



ウェザーストリップ製品(WS)事業

1,212億円



エアバッグシェア

世界18%(第3位)※1

※1 2025年3月時点当社調べに基づく

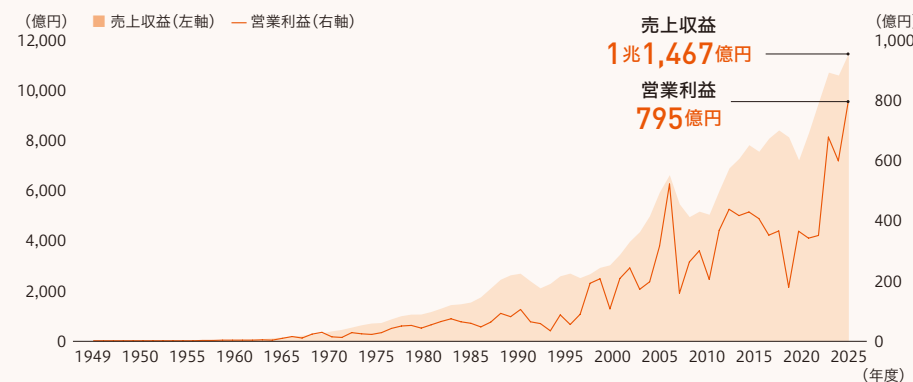


救う命

14,500名※2

※2 乗員の命に係わる四輪車の事故件数をもとに、エアバッグの装着や保護性能、当社のシェアを踏まえて当社算出

売上収益・営業利益の推移



営業利益率

6.9%

ROE

11.2%

株主資本比率

57.3%

総資産

9,929億円

営業CF

1,316億円

※ 特記のない限り、業績は2026年3月期、財政状態・従業員数等は2026年3月末時点

豊田合成について

編集方針/本レポートの位置づけ

価値創造の全体像/目次

社是/経営理念/TG Spirit

事業の進化と価値創造の歴史

TG at a glance

価値創造ストーリー

価値創造の戦略

価値創造を支える基盤

コーポレート・ガバナンス

データ